

報道機関各位

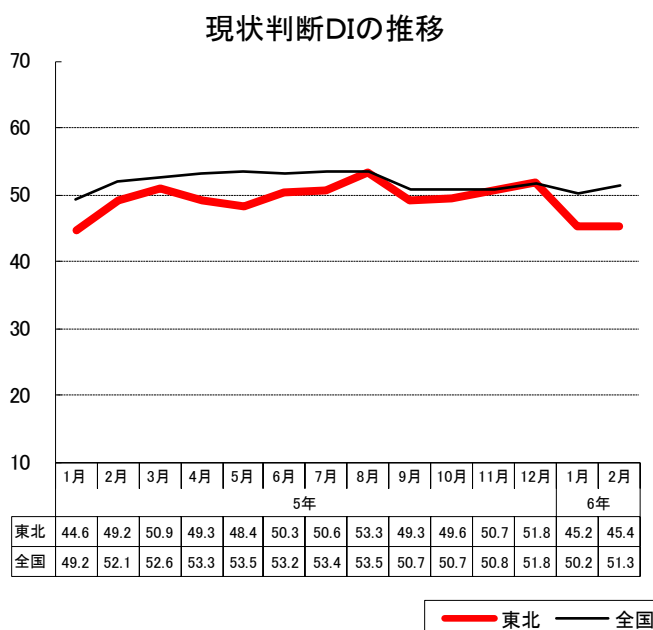
公益財団法人東北活性化研究センター
「内閣府 景気ウォッチャー調査 令和6年2月 東北分
(東北6県)」について

公益財団法人東北活性化研究センター（会長：増子 次郎 東北電力株式会社 会長）は、このほど「内閣府 景気ウォッチャー調査 令和6年2月 東北分（東北6県）」について、とりまとめましたのでお知らせいたします。

1. 季節調整値

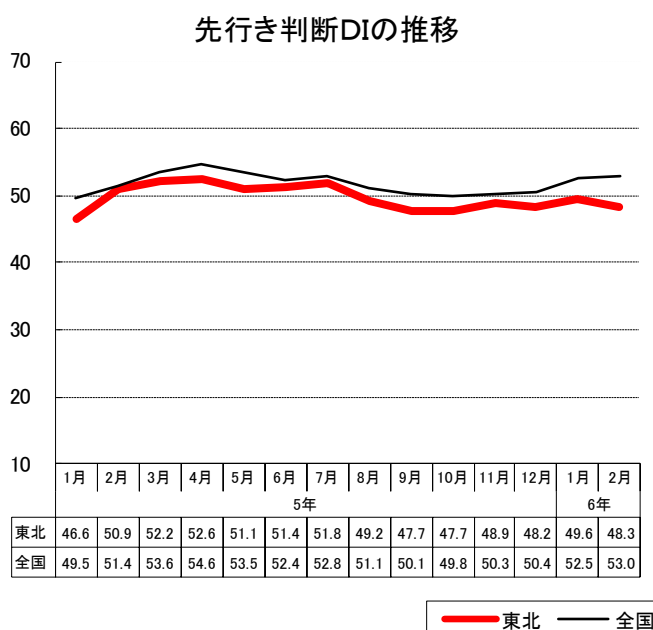
(1) 現状判断（3か月前との比較、方向性）

現状判断DIは「45.4」と2か月ぶりに前月を上回った。前月と比較し+0.2ポイント上昇した。



(2) 先行き判断（2～3か月先の見通し、方向性）

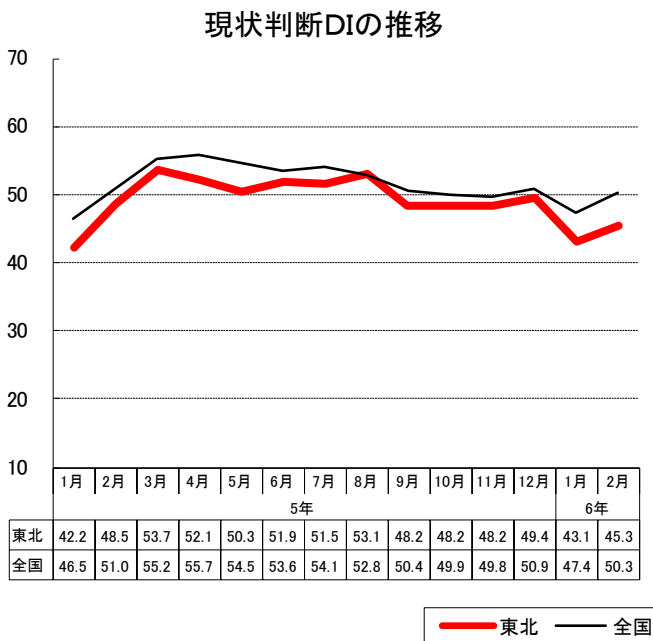
先行き判断DIは「48.3」と2か月ぶりで前月を下回った。前月と比較し▲1.3ポイント低下した。



2. 原数値

(1) 現状判断（3か月前との比較、方向性）

現状判断DIは「45.3」と2か月ぶりに前月を上回った。前月と比較し+2.2ポイント上昇した。



○家計動向関連…乗用車・自動車備品販売店、衣料品専門店、スーパー等の業種でDIが前月を下回ったが、百貨店、観光型ホテル・旅館、旅行代理店等の業種でDIが前月を上回った。

DIは「43.5」(+1.1)と、2か月ぶりに前月を上回った。

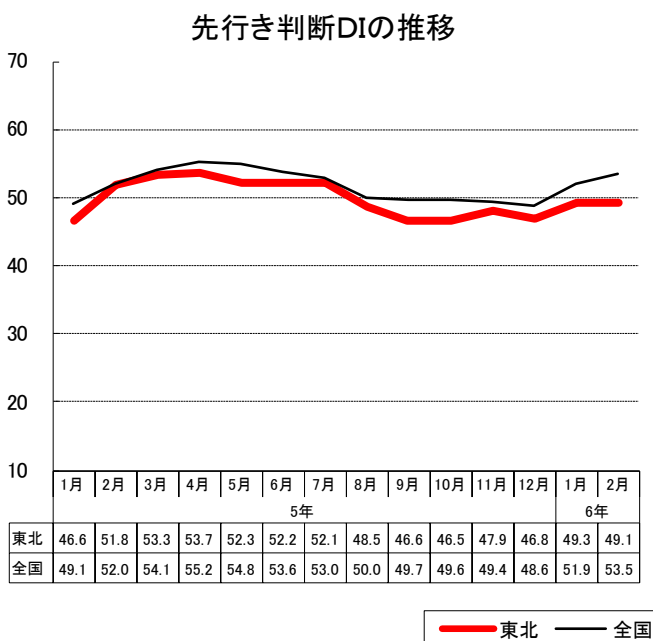
○企業動向関連…その他非製造業[飲食料品卸売業]、金属製品製造業、建設業の業種でDIが前月を下回ったが、輸送用機械器具製造業、電気機械器具製造業、司法書士・経営コンサルタント・会計事務所等の業種でDIが前月を上回った。

DIは「50.0」(+4.9)と、2か月ぶりに前月を上回った。

○雇用関連…DIは「47.4」(+4.0)と、2か月連続で前月を上回った。

(2) 先行き判断（2～3か月先の見通し、方向性）

先行き判断DIは「49.1」と2か月ぶりで前月を下回った。前月と比較し▲0.2ポイント低下した。



○家計動向関連…スーパー、衣料品専門店、商店街等の業種でDIが前月を下回ったが、一般レストラン、コンビニ、観光型ホテル・旅館等の業種でDIが前月を上回った。

DIは「50.0」(+0.9)と、2か月連続で前月を上回った。

○企業動向関連…電気機械器具製造業等の業種でDIが前月を上回ったが、農林水産業、食料品製造業、輸送用機械器具製造業等の業種でDIが前月を下回った。

DIは「47.9」(▲2.8)と、3か月ぶりで前月を下回った。

○雇用関連…DIは「46.1」(▲1.3)と、3か月連続で前月を下回った。

<参 考>

■DIの推移（原数値）

（1）現状判断（方向性）DI

	5年												6年	
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
東北現状	42.2	48.5	53.7	52.1	50.3	51.9	51.5	53.1	48.2	48.2	48.2	49.4	43.1	45.3
家計動向関連	39.9	47.5	53.3	51.8	48.4	50.7	52.5	54.3	48.7	48.1	49.3	50.7	42.4	43.5
企業動向関連	47.3	50.0	55.6	51.4	50.0	52.7	48.6	54.7	50.7	48.6	45.1	49.3	45.1	50.0
雇用関連(参考)	46.1	51.3	52.6	55.3	61.8	57.9	51.3	42.1	40.8	48.7	47.4	42.1	43.4	47.4

（2）先行き判断DI

	5年												6年	
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
東北先行き	46.6	51.8	53.3	53.7	52.3	52.2	52.1	48.5	46.6	46.5	47.9	46.8	49.3	49.1
家計動向関連	45.2	51.3	51.8	52.9	50.9	51.5	50.9	49.1	46.9	46.6	47.4	45.4	49.1	50.0
企業動向関連	52.0	48.6	56.9	54.2	52.7	52.7	56.1	48.0	45.3	48.6	46.5	50.0	50.7	47.9
雇用関連(参考)	44.7	60.5	55.3	57.9	59.2	55.3	51.3	46.1	47.4	42.1	53.9	48.7	47.4	46.1

※DI（Diffusion Index）について…50を基準とし、50を超えると景気が良い方向にあることを示す。

■調査の概要

調査期間 令和6年2月25日～29日

回答者数 171/189名、回答率 90.5%（全国 1,815/2,050名、88.5%）

以 上

<お問い合わせ先>

公益財団法人 東北活性化研究センター（担当：三浦 融）
〒980-0021 仙台市青葉区中央 2-9-10
TEL：022-222-3394 FAX：022-222-3395

<別紙>

■特徴的と思われる判断理由（ウォッチャーのコメントから抜粋）

（1）現状判断理由

○「やや良くなっている」

（百貨店）…県外からの客と若い層の客を中心に来客数が増えている。販売量が極端に増えているわけではないが、必要なものだけを吟味しながらショッピングを楽しんでいる様子がみられる。

（住関連専門店）…客の購買量が増えている。

（高級レストラン）…販売量が増加傾向にある。

（一般レストラン）…3月の歓送迎会の予約はコロナ禍の頃よりは若干多く入っている。

（観光型旅館）…例年であれば閑散期だが、暖冬の影響で宿泊者数が前年よりも大幅に増加している。

（旅行代理店）…県内の契約旅館、ホテルの販売額は、今年度第3四半期は2019年度比98%だったが、第4四半期は同126%まで回復している。

（観光名所）…売上、来客数共に新型コロナウイルス感染症発生前の水準を上回っている。3か月前と比べると非常に良くなっている。

（電気機械器具製造業）…半導体デバイスメーカーである顧客の開発遅延が続いていたが、量産に向けた設備投資の動きがやや活発になっている。

（輸送用機械器具製造業）…前月からの引き合い案件が正式受注となり、全体的な売上の増加が見込める。

（人材派遣会社）…採用数は第4四半期からまた増加傾向になっている。

（新聞社[求人広告]）…求人広告は季節的な変動も大きいですが、全体としては増加傾向にある。人材採用の動きが出てきている。

○「変わらない」

（商店街）…暖冬の影響を受け冬物用品の売上が伸び悩んでいる。株価が高値更新をしても地方の経済は物価高で停滞している。

（コンビニ）…来客数、販売量共に前年並みで推移している。前月より若干持ち直しているが、大きな変化はみられない。

（衣料品専門店）…暖冬により冬物商材の売行きが良くない。客の動向を見ても購買意欲に欠けている。

（その他専門店[ガソリンスタンド]）…自動車用燃料油は回復傾向にあるものの、暖冬の影響により灯油の販売量が減少している。

（その他小売[ショッピングセンター]）…2月の買上客数は前年比107%であり、2023年4月から11月までの累計買上客数と同値でトレンドに変化はみられない。インバウンドの買上客数は、直近3か月間は前年比280%と好調ではあるものの、買上客数全体の0.04%であり、構成比でみるとまだ少ない。

（タクシー運転手）…暖冬で道路に雪がないため、タクシーを利用する客が減っている。

（住宅販売会社）…戸建て注文住宅の受注が低迷している。低価格の企画住宅が売上の大半を占めている。

（建設業）…目立った受注契約がない。

(経営コンサルタント) …東北は冬が観光資源であるが、雪不足などにより悪影響を受けている。
(その他非製造業 [飲食料品卸売業]) …暖冬で冬物商材の動きは良くないが、受注量、販売量共に前年並みである。

○「やや悪くなっている」

(一般小売店[酒]) …今冬は降雪量不足で日常生活の負担は減る一方、イベントやレジャーに与える影響が大きい。また、除雪作業従事者が苦しい状況である。豪雪地帯では雪に関連する業務従事者が多いため、降雪量がある程度なければ経済が回らない。

(スーパー) …商品原価は上がっているが、価格競争が絶えないため特売の売価を上げることができない。売価を下げても買上点数は増えない状況である。来客数は前年を超えているが、買上点数は割り込んでいる。

(衣料品専門店) …コロナ禍でビジネスマンが買わなかったスーツや礼服を買い求めるリベンジ消費が前年の今頃からみられた。今年はそういった客の来店がなく苦戦している。

(乗用車販売店) …大手自動車メーカーの不正問題の影響で、注文のキャンセルや買い控えの動きが多くなっている。また、新型車の発表が遅れるなど良いニュースが少ない。ただし、受注残となっていた分の納車があるため収益自体は確保できている。

(美容室) …客の再来店率はここ2か月、前年比マイナスは変わらないものの僅かながら回復基調にあったが今月は停滞している。出費を抑える状況になりつつあるとみている。

(金属製品製造業) …2月の売上は例年以上に大きく落ち込んでいる。顧客製品の販売不振により受注が減少しているのが要因とみている。

(一般機械器具製造業) …受注量は横ばいか減少傾向にある。

(職業安定所) …新規求人数は前年比で減少の傾向が続いている。事業主都合による離職者が増加傾向にある。

(2) 先行き判断理由

○「良くなる」

(観光型旅館) …桜の季節及びゴールデンウィーク期間となるため、宿泊者数が更に増加するとみている。

○「やや良くなる」

(百貨店) …賃金上昇の動きが拡大しており、消費マインドの更なる向上に期待し、コンテンツを充実させていく会社が増えていくと予想している。

(コンビニ) …株価上昇の影響は少なからず出てくるとみている。

(一般レストラン) …暖かくなり人出が多くなるため、やや良くなるとみている。ただし、コロナ禍後、飲み方のスタイルが変わり、まとまった人数で飲むことが少なくなっている。

(電気機械器具製造業) …半導体デバイスの供給過多が収まりつつある。顧客の開発動向もやや上向いており、今後2～3か月は更に活発になるとみている。また、生成AIが非常に盛り上がっていることから、AIデバイス関連事業への積極的な設備投資も期待される。

(その他非製造業[飲食料品卸売業]) …引き続き、外食向けが出荷をけん引するとみている。

○「変わらない」

(商店街) …物価上昇分を賃上げでカバーできていない。また、年金受給者も物価高で生活費を切詰める傾向にある。賃上げできる企業は大企業を中心とした一部の企業だけである。

(スーパー) …商品・製品原価高の価格転嫁は進んでいる。株価が高値で推移しており、新年度の始まりに向けて景気が上向き期待はある。しかし、企業間で賃上げの格差があり、投資などの個人の金融資産にも格差があるため、収入格差が広がることを懸念している。消費の傾向は実質可処分所得が増えていないため変わらないとみている。

(その他小売[ショッピングセンター]) …食品や衣料品の価格高騰の波が落ち着きつつあるなかで、冬物セール商戦では暖冬の影響もあり顧客の消費動向は鈍い。好調業種は限定的であり給与所得の上昇が見通せないなか、2～3か月先も消費者の節約志向は続くとみている。

(金属製品製造業) …やや悪い現状のまま推移するとみている。

(輸送用機械器具製造業) …半導体関連の取引先の動きが良くなる見込みがあり、それに伴い当社加工製品の受注売上の伸びも期待できる。

(その他企業[協同組合]) …業種、業態により温度差はあるが、総じてある程度は安定するとみている。

(人材派遣会社) …求人の動きはまだ様子見状態である。全国の求人数は踊り場に来ている。製造業の求人増加の動きはみられず、この動向次第で今後の景況感は変わるとみている。

(職業安定所) …企業の売上は伸びていないが労働力不足は継続しており、求人活動は旺盛である。当面この傾向は続くとみている。

(民間職業紹介機関) …自動車関連部品工場で、前月から引き続き減産等が行われており、休業はないものの残業時間が減っている。

○「やや悪くなる」

(衣料品専門店) …インフレにより生活防衛意識が高まっている。今後も支出を抑える意識は強くなるとみている。

(自動車備品販売店) …暖冬の影響で除排雪用の建設機械の稼働がほぼなかったため、補修整備等に係る取引が減るとみている。

(その他専門店[ガソリンスタンド]) …今後、運送コスト等が増加するものの、販売価格に転嫁することは難しく、業界の景気は悪くなるとみている。

(観光名所) …当県空港への国際チャーター便が運航されるなど、インバウンドが景気を下支えている。しかし、この先のインバウンド対策が不透明であることに加え、日本人国内旅行者が新型コロナウイルス感染症発生前の水準に戻っていないことから、現状の好景気を維持するのは厳しいとみている。

(食料品製造業) …1ドル150円台が続いており、原料や資材の価格に影響が出てくるとみている。

○「悪くなる」

(農林水産業) …暖冬の影響による春先の水不足が農作物の生育に悪影響を及ぼすことを懸念している。

東北地域に関する解説は、当センターの責任でまとめたものです。

以上